

「昭和びと秘密基地」 | 「昭和100周年祭」企画

100年後に残す、昭和の名曲

『昭和のうたザ・ベスト100』9月中間発表

リクエスト 842 件・572 曲 — いま 1 位は久保田早紀「異邦人」

「昭和びと秘密基地」が展開する「昭和100周年祭」の一般投票企画『昭和のうたザ・ベスト100』。
「昭和200年に残すべきうた」を募るこの企画へのリクエストが、2026年9月29日時点で**842件（全チャンネル総計）・572曲**に達しました。現在の1位は久保田早紀「異邦人」、2位は美空ひばり「川の流れるように」、3位は石野真子「狼なんか怖くない」。12月1日の受付締切まで、残り2か月です。

上位には1970～80年代の歌謡曲・ポップスの王道が並びます。リクエストされた曲の数が多い歌手は中森明菜・山口百恵・沢田研二。一方で、572曲の半数以上は「1票だけ」の曲です。単なる「名曲」「ヒット曲」ではなく、「歌い継がれるうた」を選ぶ本企画ならではの広がりです。

世代と地域の幅も広がっています。年代の記入がある声のうち約7割を50代・60代が占める一方、10代～30代からも64件。CMのカバーで美空ひばりを知ったという10代の声も届いています。地域の記入がある声だけでも全国29都道府県（6月の中間発表時は24）、さらにドイツ・タイ・米国からもリクエストが寄せられています（詳細は別紙①）。

リクエストの4割超はイベントやラジオ特番の会場から届いています。8月30日の「bjbCOLLECTION 福岡2026」コラボステージでは、寄せられたリクエスト曲でイントロあてクイズを実施。10月25日には「小郡市民まつり」（福岡県小郡市）で昭和歌謡ステージと出張企画を行い、会場でもリクエストを受け付けます。

リクエストは公式LINE・Googleフォームから、どなたでも、何曲でもご参加いただけます。2026年12月1日に受付を締め切り、『昭和のうたザ・ベスト100』を決定・発表します。決定した100曲は、様々なメディアやイベント、SNSなどでも無償でご利用いただけます（事務局の活動は別紙②）。



左：「bjbCOLLECTION 福岡 2026」コラボステージ（2026年8月30日）



右：リクエスト曲のイントロあてクイズに手を挙げる客席

【本件に関するお問い合わせ先】

昭和びと秘密基地 事務局 担当：園田 哲也

E-mail: t28.sono@gmail.com / 携帯: 090-5336-8837

【別紙①】『昭和のうた ザ・ベスト 100』リクエスト状況（9月29日時点）

本企画は、「昭和びと秘密基地」が展開する「昭和100周年祭」の一環です。

■ 数字で見る中間発表

842 件	572 曲	29 都道府県	357 人
リクエスト（全チャンネル総計）	集まった曲の数	+海外3か国から	公式LINEのご登録

※リクエスト件数は、公式LINE・Google フォーム・イベント会場やラジオ特番等で寄せられた数の合計（延べ）

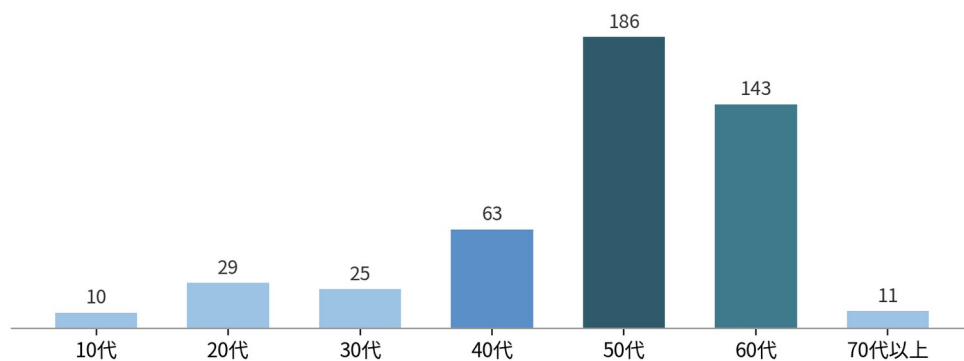
■ いまリクエストが多い曲

順位	曲名	歌手	発売年
1	異邦人	久保田早紀	昭和54年（1979年）
2	川の流れのように	美空ひばり	昭和64年（平成元年）
3	狼なんか怖くない	石野真子	昭和53年（1978年）
4	勝手にしやがれ	沢田研二	昭和52年（1977年）
4	いとしのエリー	サザンオールスターズ	昭和54年（1979年）
4	木綿のハンカチーフ	太田裕美	昭和50年（1975年）
4	ルビーの指環	寺尾聰	昭和56年（1981年）

※4位は4曲が同数。発売年は「昭和100周年祭」の表記に合わせ、平成以降も昭和で数えています

■ 世代を超えて — 10代から80代まで

世代を超えて届くリクエスト（10代～80代）



※年代の記入がある467件より（件数）

【別紙①】 つづき

■ 地域を超えて — 全国・海外へ広がる共感



居住地は福岡が過半数。続いて東京・北海道・神奈川・愛知。九州発の企画が、首都圏や北海道、海外にも届いています。

■ 寄せられた声 — リクエストに込められた思い出

声の主／リクエスト曲	寄せられたエピソード
10代・千葉県 「川の流れるように」 美空ひばり	サントリー生ビールの宣伝をきっかけに知りました。
20代・北海道 「スローモーション」 中森明菜	明菜ちゃんの始まりと言えば「スローモーション」です！ いつまでも大好きです。通勤途中で聴いていますが、景色が一気に春めいたような感じがして気分が上がります！
30代・福岡県 「勝手にしやがれ」 沢田研二	リアルタイムの世代ではありませんが、YouTube等で知り、めちゃくちゃカッコイイと思っています！
40代・東京都 「ルビーの指環」 寺尾聰	情景が思い浮かぶ歌で、男性の弱さや強がりが出ていて好きです。
50代・大阪府 「異邦人」 久保田早紀	小5の時の曲だけど、久保田早紀さんが大人の女性で、ミステリアスでドキドキしたのを覚えています。
60代・埼玉県 「狼なんか怖くない」 石野真子	15歳ぐらいで初めてファンクラブに入ったアイドルが石野真子さん。一目惚れでした。今でも大好きで、人生に欠かせない永遠のアイドルです。
60代・愛知県 「木綿のハンカチーフ」 太田裕美	ネット環境のない時代の、都会と地方の遠距離恋愛を100年後にも残したい。
70代・佐賀県 「真夏の出来事」 平山三紀	少しませてきた高校生の時代に初めてレコードを買って、毎日この曲を聴きながら1時間ほどかけて自転車通学をしていた頃を懐かしく思い出します。

※SNS等での利用に同意いただいた声から、年代ごとに抜粋しています（表記を一部整えています）

■ リクエストの方法（2026年12月1日まで・何曲でも）

 公式 LINE から 「昭和100周年祭（昭和びと秘密基地）」の公式LINEに友だち登録し、トーク画面から送信	 Google フォームから ニックネームでOK。曲名と、できればエピソードも。全リンクまとめ（lit.link/showabito）からも入れます
---	---

公式サイト：<https://showabito.com/>

【別紙②】 昭和文化を未来へつなぐ、「昭和 100 周年祭」の活動

『昭和のうた ザ・ベスト 100』は、「昭和びと秘密基地」が展開する「昭和 100 周年祭」の企画のひとつです。以下は、その世界観を支える主な活動です。

■ リアルイベント「昭和びと秘密基地」

昭和文化を愛する様々な世代が交流するイベント。これまでに福岡・浅草・新橋、7 月には湘南・江の島で開催してきました。8 月 30 日は「bjbCOLLECTION 福岡 2026」でコラボステージを行い、10 月 25 日には「小郡市民まつり」で昭和歌謡ショー・盆ダンス・総踊りと、天神の歌謡曲バー「スポットライト」の出張企画を実施します。



福岡・天神



北村編集長とスポットライト安東オーナー



東京・新橋

■ リクエストから生まれる「昭和の名曲プレイリスト」

寄せられたリクエストとエピソードをテーマごとに編んだプレイリストを note と Spotify で公開。「家族から受け継いだ 7 曲」「初恋には忘れられない BGM があった!」「しんどい夜に繰り返し聴いた」など、ひとつの曲の向こうにある人生を紹介しています。 <https://note.com/showa200>

■ note 連載「昭和歌謡放浪記」／YouTube「還暦維新」チャンネル

昭和歌謡の名曲をエピソードとともに綴る note 連載「昭和歌謡放浪記」は、昭和びと秘密基地アンバサダーで音楽プロデューサーの家村裕之氏が執筆 (<https://note.com/showakayou>)。YouTube「還暦維新」チャンネルでは、昭和 100 周年祭を主宰する北村明広らが昭和の歌を語り合っています。

■ 「昭和 100 周年祭」が目指すもの

1926 年に始まった昭和は、戦争と復興を経て豊かな文化を育んだ時代。「昭和びと秘密基地」が展開する『昭和 100 周年祭』は、その経験と文化を語り継ぐ架け橋となり、昭和の「情緒」を懐かしむだけでなく現代に必要なエネルギーとして未来へつなぐ取り組みです。「この指とまれ」を合言葉に、昭和 200 年を見据えて活動を続けます。

「懐かしむ昭和」ではなく、未来へつなぐ文化へ

